

# Oak Village. 通信

月刊オークヴィレッジ通信 No.373 2010.1.1 <http://www.oakv.co.jp>

## 心と体、自然と宇宙

稲本 正文

私たちは、今や、人類史上かつてない大変革が必要な、きわめて大切なターニングポイントにさしかかっています。

「物というものは、可視光線内にあっても見えないことがある。…僕らは、自分の求める世界だけしか見えないのだ。―日記 1857年7月2日」

「ソロー語録」岩政伸治訳より

身の周りの物も、自然も、大宇宙でさえ、確かに私たちは固定観念を持ってしまおうと、その観念の領域の中でしか、物が見えなくなってしまうというようです。

特に、近代合理主義の固定観念である「無限の宇宙に向かって、人類がこのままでも無限の発展ができる」という観念が大間違いで、今こそ反省しなくてはなりません。

そんな現代だからこそ、新しい年に、新しい観念で、可視光線内にあつては見えない、それこそ物の深部に潜む本質を求め、探し当ててくはないのです。

そのためには、まず、自然物に対して五感を解放し、心身の健康をホリスティックに取り戻すことから再出発しなくては行けないのではないでしょうか。